

# Outrigger Canoe Free Trial 無料体験会

2024/5/25(土)

Japan Outrigger Canoe Association



# JOCA

Japan Outrigger Canoe Association

# Our mission: アウトリガーカヌーの普及発展

- 昨年5月に一般社団法人として新たなステップを踏みました。
- スポーツのジャンルとしては未だマイナーだが、競技人口を増やし四方を海に囲まれた日本の海岸の積極的な活用に繋げたい。

- 日本アウトリガーカヌー協会

<https://www.joca.ne.jp> info@joca.ne.jp

- 代表理事 尾花 充
- 理事 木下健二
- 理事 小林 富士雄



# 2024年度企画概要

アウトリガーカヌー無料体験会を5/25(土)に実施。翌日5/26(日)に第3回全日本アウトリガーカヌー選手権JOCA CUPを行う事で、日本全国のアウトリガーカヌークラブが逗子海岸に集結。体験会のサポートも充実させる。

# 体験会2023年の様子





# 体験会の意図：

- 子供から年配の方まで、幅広い年齢層が楽しめ、また生涯スポーツとして普及を目指し若年層へもリーチ。
- クラブ単位では中々実現できない規模の体験イベントを協会として各クラブの協力で行う。
- 今年で3回目となる企画。過去100～150名の体験対応の実績を基に、参加者に楽しんで頂けるプログラムの充実
- 逗子海岸の魅力をアピール。穏やかで美しい海岸保全の為にビーチクリーンからスタート

# • 体験会実施概要

- 日時: 5月25日 土曜日10時～14時
- 場所: 逗子海岸東浜 太陽の季節の碑前
- 参加費: 無料 \* 保険費用として500円
- 体験参加想定数: 150名
- 使用カヌー: OC6 × 5艇、OC4 × 2
- 告知: JOCAホームページ、Facebook
- \* 予約不要・当日受付
- \* 中止の場合は当日朝5時にHP、FBにて。順延日未定

# 安全対策

- 乗艇人数分ライフジャケットの準備
- セーフティーとしてのアウトリガー（浮き）のセッティング
- 熟練ステアマン（舵取り）の乗艇及び組み合わせによりスタッフ乗艇
- 当日の波、風に合わせた体験メニュー

# 運営に関して

- 各クラブのボランティア50名
- 近隣クラブからの艇借用 ( ohana × 2, WAILEA × 2, SPC × 1, KOC × 1)

# 協カクラブ(加盟クラブ、順不同)

- アマニコアウトリガーカヌークラブ 鹿児島県奄美市
- オハナホウアウトリガーカヌークラブ 神奈川県逗子市
- 鎌倉アウトリガーカヌークラブ 神奈川県鎌倉市材木座
- 佐島パドリングコネクション 神奈川県横須賀市長井
- 茅ヶ崎アウトリガーカヌークラブ 神奈川県茅ヶ崎市
- アウトドアフィットネスクラブBEACH葉山 神奈川県三浦郡葉山町
- ホロカイアウトリガーカヌークラブ関西 兵庫県西宮市
- モクプニパドリングクラブ 広島県江田島市
- ワイレアカヌークラブジャパン 神奈川県鎌倉市材木座
- 駿河湾アウトリガーカヌークラブ 静岡県清水市

# 協力企業、団体

- 特定非営利活動法人NPO海岸クラブ
- 逗子ビーチクラブ
- 逗子マリン連盟
- 株式会社ゴールドウィン
- パタゴニア日本支社

# アウトリガーカヌーとは？

- 細長い艇体とバランスを取るための横にせり出した浮（アウトリガー）が取り付けられたものを「アウトリガーカヌー(Outrigger Canoe)」と呼びます。元々、太平洋の島々では宗教的な意義を持つカヌー競争が盛んに行われていました。20世紀に入ってからハワイが観光地として発展するに伴い、レジャーやスポーツとして復活を遂げました。島を訪れた人々は、この素晴らしい舟に乗って海を楽しみ、その魅力にとりつかれたのでしょう。こうして、ハワイをはじめ世界各国でアウトリガーカヌーのレースイベントが盛んに行われるようになりました。

# アウトリガーカヌーの精神性

- アウトリガーカヌーは、何もかもが便利な現代社会とは全く反対の精神をもつ乗り物です。一切の動力を使わずに、お互いを信頼しあう人間の力だけで海を渡っていく姿は何百年たっても変わることがありません。自然の力に抗うことなく流れや風をつかむには、野性的な感覚を研ぎ澄ますことも大切。

自然を尊重し、自分の命を預けるアウトリガーカヌーを大切にし、力を合わせて共に目的地を目指す仲間を信じる、ということが求められるのです。ごく当たり前の話ですが、しかし日常生活ではなかなか実践できないことでもあります。

仲間が集まったら挨拶しあう、アウトリガーカヌーや道具類は最大限の注意を払って丁寧に扱う、海でゴミを見たら拾う。このような小さな行動の積み重ねがあって、初めてアウトリガーカヌーに乗るにふさわしい人間として認められるのです。